

奈良フェニックス大学の概要

1. 開設趣旨・開講課程

奈良フェニックス大学は、盛年(シニア世代)がこれからのライフスタイルを学び、仲間づくりを行うとともに、地域社会の将来のための活動を行うにあたっての知識やノウハウを提供するために開設されました。



公開教養講座の受講風景

2013年4月の開設からこれまでに、延べ1,400人を超える方々が受講されています。

現在、地域研究科、公開教養講座を開講しています。地域研究科は、盛年だけを受け入れ、1年を通して活動しています。公開教養講座は、どなたでも受講することができ、毎年9～11月に開講しています。

2. 開設場所

DMG MORI やまと郡山城ホール(大和郡山市北郡山町 211-3)

3. 受講者の声

受講者は、「幅広い知識と多様な価値観を学ばせていただいています」、「思ったとおりの素晴らしい講義、友だち(仲間)づくりも良好で、とても楽しく過ごしています」、「地域の方々との交わりが楽しく、地域の活性化に関われることがうれしい」などと話し、受講により、幅広い知識と素晴らしい仲間、地域貢献機会の獲得という大きな財産を得ています。

4. 地域研究科における地域貢献

地域研究科では、各地域で実習・調査を行い、地域づくりを現場から学ぶとともに、県内各地域の地域づくり課題の解決に協力しています。現在、次の8プロジェクトに積極的に取り組んでいます。

- ①天理・柳本地域の活性化
- ②奈良のおみやげ魅力開発
- ③地域の絆で「防災・減災啓発活動」を通じた地域づくり
- ④故郷を未来に残すプロジェクトー山添村の活性化
- ⑤大和郡山市における高齢者支援活動
- ⑥大和郡山市矢田地区の発展に向けて
- ⑦矢田っ子の里山
- ⑧黒滝村の魅力の発見と発信



矢田地区における竹林整備と土づくり材の開発を目指す竹炭づくり(左上:竹に着火、右上:燃焼中、左下:水をかけ消火、右下:でき上がった竹炭)

5. 公開教養講座

奈良の歴史を中心に、エキスパートの先生方による12講義を提供しています。

6. 地域づくりシンポジウム

地域研究科の受講生が企画・運営する地域づくりシンポジウム(主催:奈良フェニックス大学、共催:一般社団法人地域づくり支援機構)を、毎年2月、DMG MORI やまと郡山城ホールにおいて開催しています。



地域づくりシンポジウムの様子

7. 奈良フェニックス大学の特長(他の学びの場との違い)

奈良フェニックス大学は、シニア世代を、高齢者ではなく、「知識・吸収力ともに無尽蔵な“盛年”」と考えており、学びだけでは終わらない、仲間をつくり、地域発展に貢献することの仕組みを内包しています。

奈良フェニックス大学は、仲間を広げ、「地域づくり活動への参加」、「地域リーダーとしての活躍」など、健康人生80年時代における盛年の次のステップへの多様な選択肢の獲得を支援し続けています。